



## 防犯教室 ～インターネット社会を生きるために～

菅洋生さん（岩手県警察スクールサポーター）による防犯教室を行いました。4年生～6年生児童（51名）、保護者（5名）、職員（6名）が参加し学校生活や家庭生活を楽しく送るために注意する点について学びました。

グルーミング、誹謗中傷、デジタルタトゥーの危険性について事例を交えながら説明していただきました。

その中で子どもたちに響いてほしいと思った事は、悪口を言って人を攻撃する、人の身体、外見の特徴言って攻撃することが誹謗中傷にあたることです。相手が言われていやだと感じることも相手にとっては悪口になります。そして、悪口がエスカレートすることで犯罪につながる恐れがあります。悪口は言われた本人も傷つきますし、周りで聞いている人にとってもつらい気持ちになるものです。

全校朝会で紹介した本（こどもブッタのことば）から「悪口は相手をきずつけるだけじゃない。自分自身もきずつけるよ」と話をしたことを思い出しました。

インターネット社会を生きるため、そして安全に学校生活を送るためには自分勝手なルールは通用しないことに子どもたちが気づいてくれることを期待します。



## 全校かるた大会 ～大迫かるたで地域の魅力を再発見～

本校体育館で大迫カルタをつかったカルタ大会を行いました。大迫カルタの歴史は古く、50年前から大迫で親しまれたと聞いています。

今年度は、たんぼぼの会から高橋さんと佐藤さんに読み札を読んでいただきました。

子どもたちは縦割り班（下級生と上級生の組合わせの班）対抗で3回戦を行い、3回戦の取り札の合計で順位を決めました。

学童を利用している子どもたちは、冬休みから練習をして腕を磨いていたので、上級生に負けずに札に手を伸ばしていました。

寒波をふきとばすほどの真剣勝負がくりひろげられたカルタ大会になりました。



## 避難訓練 ～不審者から身をまもるために～

今回の避難訓練は不審者が学校に侵入したケースを想定して行いました。校内放送からの情報をもとに安全な場所へ避難することができました。

藤原芽生さん（花巻警察生活安全課）から避難の仕方について講評をいただきました。さらに、登下校時における不審者対応についてお話を聞きました。

不審者がよく目撃される時間は、朝 7 時以降、帰りは 15 時～17 時の間が多いです。そこで、安全に登下校するために2つのことを教えてもらいました。

- ① 防犯ブザーの使い方 防犯ブザーは様々なタイプがあるので正しく使えるようにすること、電池が切れているとブザーが鳴らないのでお家の人と電池が切れていないか確認することが大事です。いざと言うときに使えないと困ります。
- ② 逃げるのが大事 話しかけられたときは、相手との距離をとり（捕まれないように）、「お菓子あげるよ」など誘ってきたら迷わず逃げましょう。腕をつかまれたら、振りほどいて防犯ブザーを鳴らしながら走って逃げましょう。110 番の家が近くにあったら、助けを求めましょう。

最後に「いかのおすし」を児童全員で確認しました。

い（行かない）知らない人について行かない。

か（帰る）危ないと思ったらすぐにその場を離れて帰る。

の（乗らない）知らない人の車には絶対に乗らない。

お（大声を出す）「助けて」「やめてください」など大声で助けを呼ぶ。

す（すぐ逃げる）大声をだしたら、その場からすぐに逃げる。

し（知らせる）家の人、先生、近くの大人、110 番の家などへすぐに知らせる。



## 新旧リーダー引き継ぎ ～児童会執行部バトンパス～

児童朝会で児童会執行部リーダーの引き継ぎ式を行いました。新旧のリーダー一人一人から全校児童に向けてあいさつがありました。旧児童会長の瀬川岳都さんは「ぼくは、みんなが仲良くいじめのない大迫小をめざして活動してきました。これからも、学年に関係なく、みんなが仲良く笑顔の絶えない大迫小になること期待しています。」と話しました。

新児童会長の小原田凧優さんは「会長として児童会のために活動したいと思っていました。選ばれたときはうれしかったです。執行部の一人として、『元気なあいさつができる大迫小学校』にしていきたいと思います。」と力強く決意を発表しました。

### 新児童会執行部

会長（小原田凧優さん） 副会長（伊藤結葉さん）  
副会長（藤根常大朗さん） 議長（藤原李空さん）  
副議長（佐々木時世さん） 書記（佐々木杏緒さん）  
書記（佐藤光莉さん） 図書委員長（伊藤綺香さん）  
健康委員長（伊藤愛空さん） 放送委員長（佐々木涼香さん）  
給食委員長（佐々木滉太郎さん）  
体育委員長（佐藤直弥さん）  
ボランティア委員長（藤原琉煌さん）

